

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4025	(H.24)No.	4025
-----------	------	-----------	------

事務事業名	一般市道舗装事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道舗装事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	一般市道舗装事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
生活道路の安全性向上を図るため、計画的かつ効率的に道路舗装を進めています。	路面補修により、通行の安全確保に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	(H22年度繰越) ・舗装補修工事 9件 ・緊急補修工事 49件	・舗装新設 4件 ・舗装補修工事 23件 ・緊急補修工事 随時	補助金・交付金	その他 ()	
	(H23年度) ・舗装補修工事 17件 ・緊急補修工事 49件		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			・舗装補修工事 ・緊急補修工事	・舗装補修工事 ・緊急補修工事	・舗装補修工事 ・緊急補修工事
直接事業費	(19,853千円) 51,100千円	58,000千円	80,000千円	100,000千円	100,000千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金	(12,787)				
県支出金	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
地方債	26,700	9,700	10,000	10,000	10,000
その他()					
一般財源	(7,066) 20,000	43,900	65,600	85,600	85,600
人工数					
職員	(0.30人) 0.62人	0.92人	0.92人	0.92人	0.92人
臨時職員等					
概算人件費	(2,190千円) 4,526千円	6,716千円	6,716千円	6,716千円	6,716千円
+ 総事業費	(22,043千円) 55,626千円	64,716千円	86,716千円	106,716千円	106,716千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	補修等工事件数	-	-	-	-	-
	実績			139	115	124	
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.4	44.4	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
施設が年々老朽化し、舗装補修箇所が増えてくる。	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の整備を進めます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性を総合的に考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・地区内道路の整備推進と歩道の確保(蔵持) ・道路や水辺の環境整備(赤目) ・道路拡幅、改良(青蓮寺・百合が丘)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	要望箇所については今後地元自治会等と調整を行い検討していく。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
舗装の悪い箇所が多数ある。